SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

W012 久根鉱山跡(静岡県GEO DATA(5) : 地学散歩(84))

メタデータ	言語: jpn
	出版者:
	公開日: 2018-03-05
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 加藤, 国雄, 今村, 守孝
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024714

W012　久根鉱山跡

国土地理院　1：25,000 地形図　佐久間

久根鉱山へは浜松市の市街地から国道 152 号線を北上し，佐久間町大井の大井橋を渡る．西渡の家並みを過ぎてまもなく，左側の眼下に久根鉱山跡がある．

久根鉱山は江戸時代享保年間に開坑されたと言われ，長い歴史を持っていた．明治 32 年には古川機械金属株式会社が買収した．鉄道が開通するまでは船を使って鉱石を運搬し，天竜川 60 km を往復していた．廃坑になってからも鉱山の坑道跡からは酸性の水が流れ出し，石灰で中和してから天竜川に放流している．水質管理のために事務所が設置され，今なお数名の方が働いている．

久根の鉱床は，別子銅山（愛媛県）や日立鉱山（茨城県）と同じ層状含銅硫化鉄鉱床でキースラーガーとも呼ばれ，三波川帯の変成岩に層状ないしレンズ状に挟まれている．このタイプの鉱床からは黄銅鉱・磁硫鉄鉱・黄鉄鉱・閃亜鉛鉱などが採掘される．成因は，海底で噴出する熱水が鉱床を形成し，熱水鉱床がさらに変成作用を受けたものとされる．　（写真：今村守孝　本文：加藤国雄）